



PC-550VS/L パワーサーチ対応

「簡易電子野儀」と「ワンマン測量システムのコントローラー」機能を搭載したPC-550VS/Lが、ライカトータルステーションのパワーサーチ機能に対応し、より使いやすくなりました。

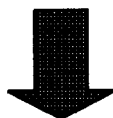
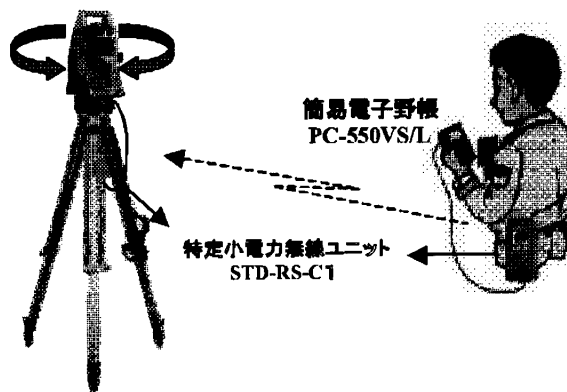
【従来のシステムとの違い】

《従来のシステム》

今までのワンマン測量の観測では、下記手順を行っていました。

- ①ミラー側より、PC-550VS/Lのキーに割り付けられているトータルステーションの回転などを制御するキーを使用して、トータルステーションをミラーの方向に回転させる。
- ②ミラーをサーチする。(ミラーを視準させる)
- ③測距する。

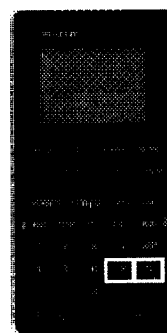
上記手順①では、無線によるタイムラグの関係などにより、トータルステーションをミラー方向に回転させることに、時間がかかることがありました。



《パワーサーチ対応のシステム》

パワーサーチ対応によって下記手順のように、1回のキー操作で、速くミラーをサーチさせることができます。

- ①ミラー側より、PC-550VS/Lのパワーサーチキー(「×」)で、トータルステーションをミラーの方向に回転、視準させる。
- ②測距する。



- 「×」：「パワーサーチ」キー
- 「÷」：「ネクストサーチ」キー

【ポイント】

PC-550VS/Lは、「パワーサーチ」と「ネクストサーチ」に対応しています。

- ①「×」キーを押すと、「パワーサーチ」を行います。
トータルステーションはサーチを開始し、ミラーを視準して停止します。
- ②「÷」キーを押すと、「ネクストサーチ」を行います。
トータルステーションは、現在視準しているミラー以外のミラーのサーチを開始し、他のミラーがあった場合、そのミラーを視準して停止します。



株式会社 シーティーエス

システムソリューションカンパニー

2008/09